

第 106 回番組審議会議事録

- 1 開催年月日 令和元年 6 月 25 日 (火)
- 2 開催場所 割烹さわ
- 3 出席について
 - 委員総数 13 人
 - 出席委員数 6 人
 - 出席委員の氏名
 - 相京恵 / 飯島哲也 / 佐藤正幸
 - 高井俊一郎 / 渡木秀徳 / 吉村巳之
 - ラジオ高崎 3 人
 - 放送局長 田野内明美
 - 放送部長 吉良武夫
 - 企画課長 関口高史
- 4 議題 ラジオ高崎の番組内容について
 - 「ラジオ保育園」について
 - 番組全般について
 - その他
- 5 議事の概要 (別紙)
- 6 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日
 - ・書面 ラジオ高崎に備え置き
 - ・ホームページ ラジオ高崎ホームページ内
<http://www.takasaki.fm>
 - ・ラジオ高崎放送 令和元年 7 月 21 日(日)
午前 6 時 55 分～6 時 59 分(予定)
- 7 その他の参考事項

(別紙) 議事の概要

- ・事務局、審議委員の順に自己紹介。
- ・事務局より、①2019年春の番組改編のポイント、②放送済み特別番組(3～6月)、③今年度の営業方針の概要をそれぞれ報告。(①～③の概略は以下の通り)

①朝ワイド新番組「モーニングエール」を開始。

土曜日の昼に新番組「&RADIO (アンドレディオ)」。

夕方ワイド「AIR PLACE」を同日夜に再放送。

②平成30年度第3回番組審議会議事要旨の放送(3/17)

第32回高崎映画祭授賞式実況生中継(3/25)

平成最後の統一地方選挙～新時代の地元リーダーを選ぶ!～(4/16)

高崎市議選開票速報(4/21)

第7回榛名山ヒルクライムin高崎 実況生中継(5/18・19)

「UTSUGI STADIUM」オープニング記念特別放送(6/1)

③「関係人口」を創出する自主制作番組を全日に拡大し、収益力を高める。

スマホ版ラジオ高崎アプリのリニューアルと新規ユーザー獲得。

送信所の高崎市役所への移転。

防災情報の的確・迅速な報道体制の更なる向上を図る。

- ・事務局から審議対象番組の説明。

「ラジオ保育園」…高崎市内の保育園に取材に伺い、子どもたちの元気な声を紹介する開局当初からの収録番組。高崎市保育協議会の提供。

放送日時：毎週日曜日 17:00～17:14 (本放送)

翌月曜日 10:30～10:44 (再放送)

取材・制作担当：篠原悠介

ナレーション：和田菜摘

- ・OA素材の試聴

「ラジオ保育園(大森こども園)」2019年4月7日日本放送、4月8日再放送

「平成30年度第3回番組審議会議事要旨の放送」2019年3月17日放送

- ・番組説明とOA素材試聴のあと、他の既存番組も含めて広く意見を求めた。

委員各位の意見

「ラジオ保育園」について

○地元の保育園・こども園に通うお子さんの声を聴けるまさにコミュニティ放送でないと出来ない種類の番組であると思う。子どもたちの夢が語られていてよい番組である。子どもだけではなく、夢を聞いたり語ったりする番組や仕掛けがなかなかないので是非今後も長く続けて欲しい。

○保育園・こども園のイベント情報のアナウンスはあるが、その園がどのような運営方針なのか、園長がどのような考え方・方針であるのかも分かるとよい。園長のインタビューも検討してはどうか。

○マンションの建設が相次ぐ高崎駅周辺の核家族化は著しい。孤立している若いお母さんも少なくないと思う。こういう方に寄り添い注目してもらえるよう、「ラジオ保育園」を始め、他の「子育て・育児」番組の制作にも力を注いでもらいたい。

○娘も番組に出演したことがある。紹介されるお子さんの親御さんはラジオを聞き、おじいちゃんおばあちゃんや親戚というふうに、リスナーが3倍にも4倍にも広がる。再放送の回数を増やしてもよいと思う。

○「大きくなったら何になりたいか」の質問は、取材方法を工夫した方がよい。一人の子が「サッカー選手」というと、それにつられて「サッカー選手」が数人続くということもあるのではないか。お子さんの本当の気持ちをうまく引き出して欲しい。更に、毎回同じ質問ではなくクリエイティブな要素を含んだ質問をするのも面白い。また、逆に同じ質問を様々な年代にしてみても比較する番組があってもよいと思う。

(事務局) 開局当初から続くラジオ高崎の「目玉」番組であるので、今後も続ける方針。取材や編集の工夫には積極的に取り組んでいく。高校生や大学生が出演する番組(コーナー)はあるが、社会人を世代ごとに分けて考え方を紹介するような企画は今までなかった。今後の番組編成の参考にしたい。

番組全体について

○自主制作率が100%に近いというのは、大変努力していると思う。特別番組や取材を通してどんどん地域に出ていっている姿がよく分かる。コミュニティ放送の大きな役

割のひとつに「防災・減災対策」「災害時のきめ細やかな特別放送」があると思うが、普段から地域に出て存在をアピールすることでいざというときの機動力にもつながるし、多くの方に聞いて頂けるはずだ。

○県央部の住民の移動の仕方は、高崎・前橋・玉村・伊勢崎・藤岡などに及んでいる。高崎市のみならず周辺の市町村も対象にした番組作りを進めると、収益力アップにつながると考える。

○群馬県に住んでいる外国人にとって、高崎は大都市。多くの外国人が高崎に集まってくる。外国人にリアルタイムで高崎の情報を発信するような番組を届けて欲しい。こういった番組は、新しいマーケットの開拓にもつながると思う。

(事務局) 今年度中に、外国語による外国人向けの番組を始める予定。

○朝と夕方には多くの情報が紹介されているが、地域情報番組の再放送回数を増やすことも含めてどの時間帯でもリスナーが情報に接することの出来る番組編成であると思う。

○高崎のコミュニティを基本にしながらも、高崎のイベントや観光ビジネスなどを高崎の外に向けて発信すると収益力向上など更に可能性が広がるのではないかな。

○更なる地元情報やお店情報の積極的な発信に期待する。ショップや飲食店などへの突撃レポートなども面白い。

○番組表やフライヤーのようなものを高崎市内のお店などに置いてもらうのはどうか。

○現在、高崎駅サテライトスタジオのすぐ近くにスピーカーがあり放送を聞けるが、高崎駅コンコースの広い範囲で聞けるようになるとありがたい。高崎市民はもちろん、市外から高崎にお越しになった方の情報収集にも役立つ。

○ラジオ高崎を多くの方に知ってもらうため、アナウンサー・パーソナリティーの一覧を HP に掲載してはどうか。オフ会や企画旅行などを開催するのもよいと思う。

以上